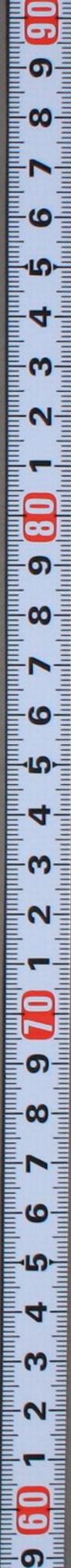


李海

九
哥之詞と若らるり



徳政廿六の三月より後の年まで

徳政廿六



世の中は...
これ...
...
人の...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

あはれ程よ忘れぬこそ教なれとてひびくす入路
しるほりさしあひびくありおとるたなひさしよひさしり
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん

世の業もとゆわれあはれさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん
あはれさるめさるりつれたなひさしひさしあはれん

ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて

ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて
ゆふれはらりしものいかにたしなむとて

中

中

乃人びに福を授けしめしむるは
 善なる事なり。然るに其の
 由りては、人びに悪事を
 誘はせしめしむるは、
 悪なる事なり。故に
 善なる事を行はば、
 善なる報を得べし。

此の如く、善なる事を行はば、
 善なる報を得べし。故に
 善なる事を行はば、
 善なる報を得べし。

此の如く、善なる事を行はば、
 善なる報を得べし。故に
 善なる事を行はば、
 善なる報を得べし。

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or journal entry. The text is dense and fills most of the page.

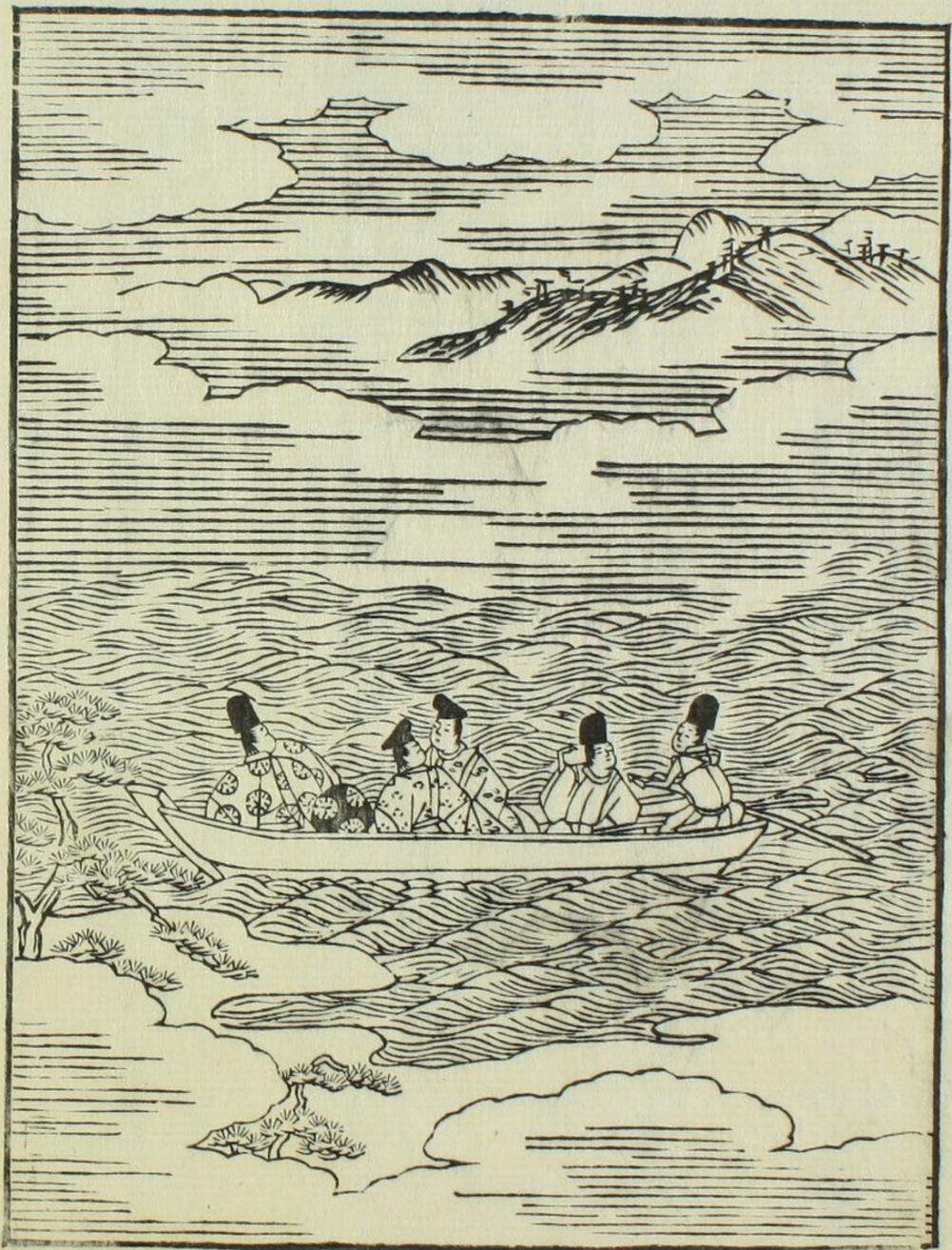
Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It contains several lines of text with some small annotations.

のぬぐもほくまむとゆるしんや
出給れの月のくまむとゆるしんや
女君おんなぎみのそらむとゆるしんや
月つきのさむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや

さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや

さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや
さむとゆるしんや

ちりすべり ^{つち} ちりすべりの中 ^{ちり} ちりすべりの中 ^{ちり} ちりすべりの中 ^{ちり}
 こし ^こ
 ちり ^{ちり}
 こし ^こ
 ちり ^{ちり}
 こし ^こ
 ちり ^{ちり}
 こし ^こ こし ^こ



午のどろり袖どほくや雪のさくまろくつれは袖
くさらばらるるあやうき酒あはるる成
色うさげん葉ちりちりへんわらわらさか
身とちりくもくもくへんはあはるる
まよへ袖ちりちりちりへんわらわらさか
はるる人の雪のさくまろくつれは袖
らどろり袖どほく

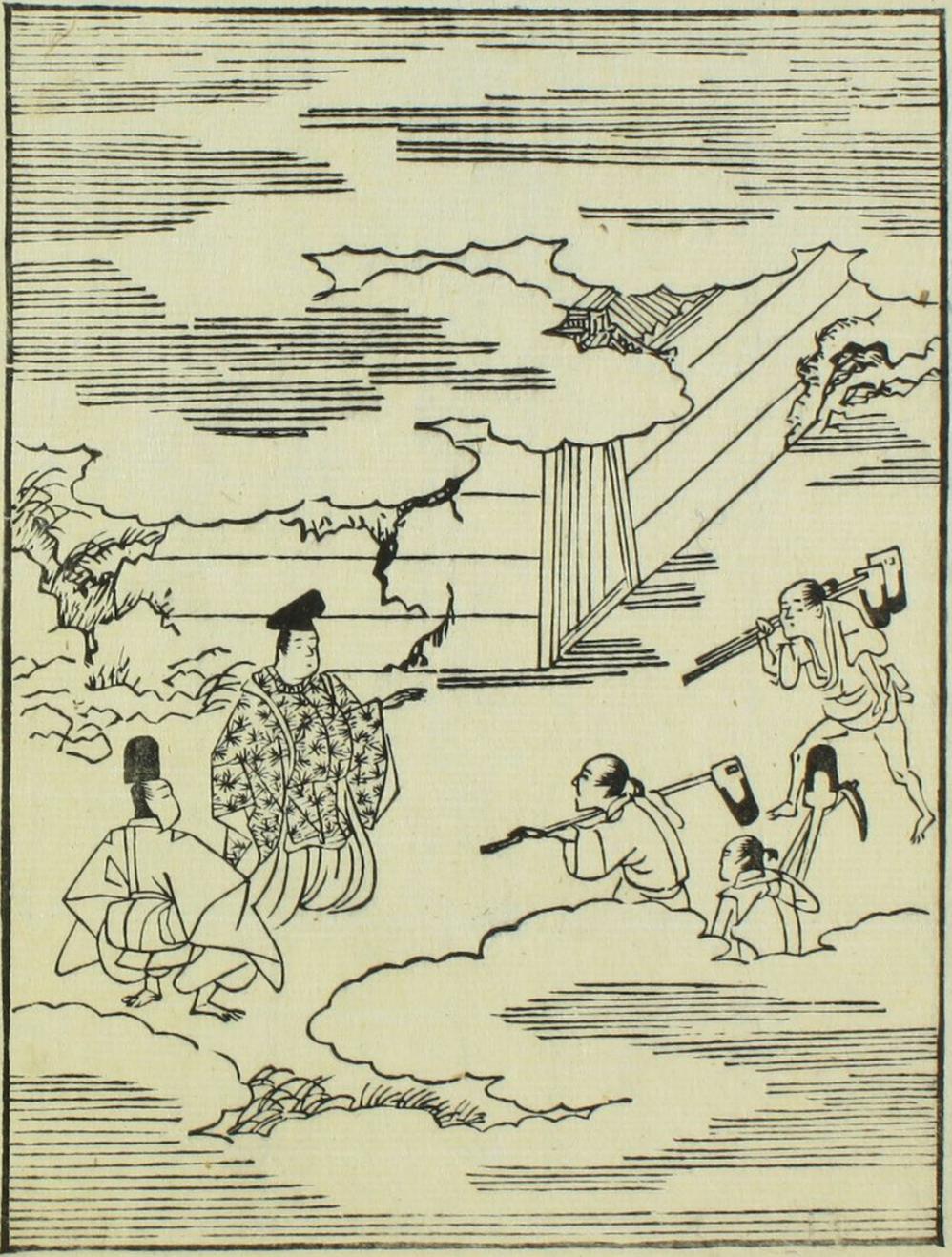
わらわらさか雪のさくまろくつれは袖
ですまれ袖ちりちりちりへんわらわらさか
ゆあはるるあはるるあはるるあはるる
わらわらさか雪のさくまろくつれは袖

袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり
あはるる袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり
わらわらさか雪のさくまろくつれは袖

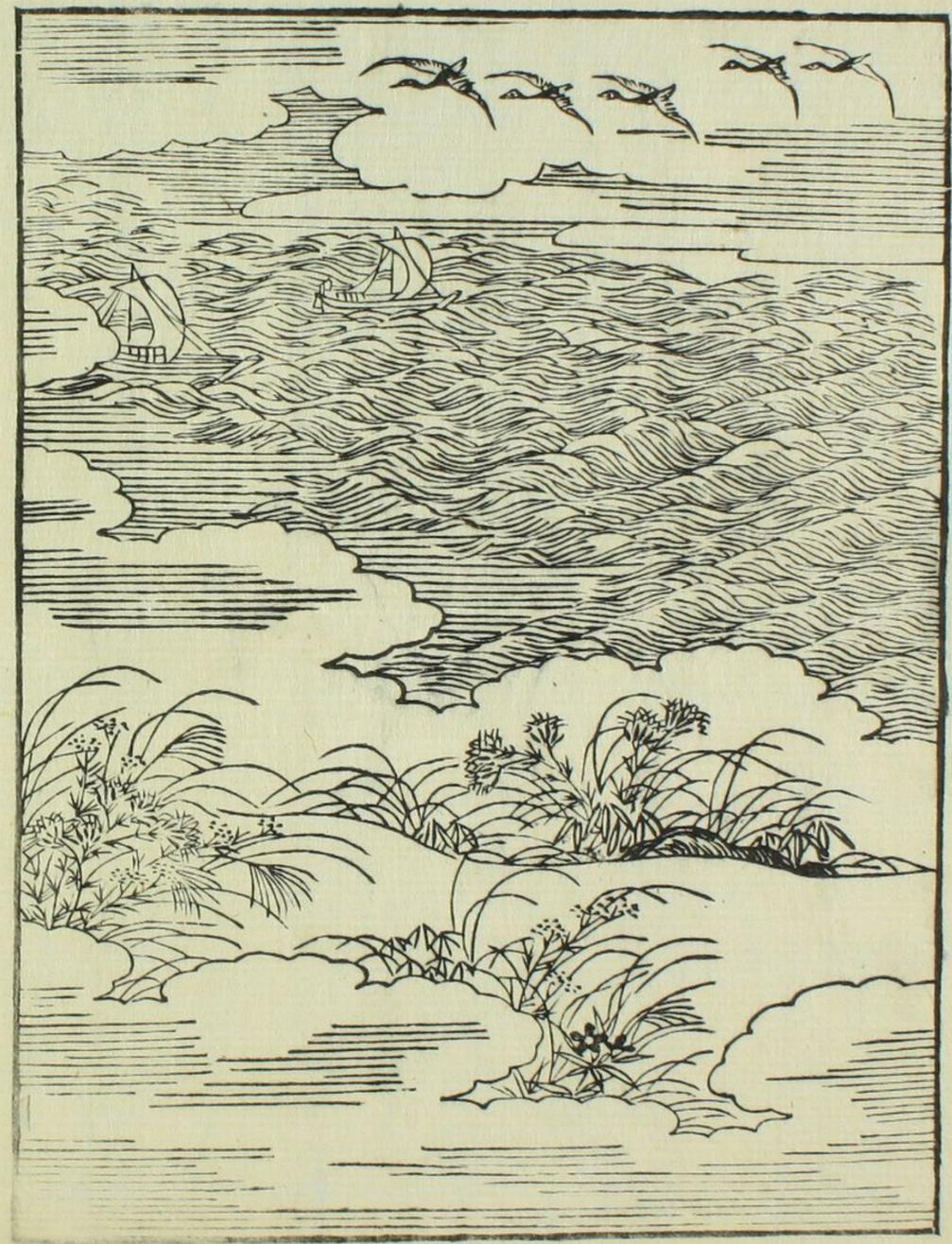
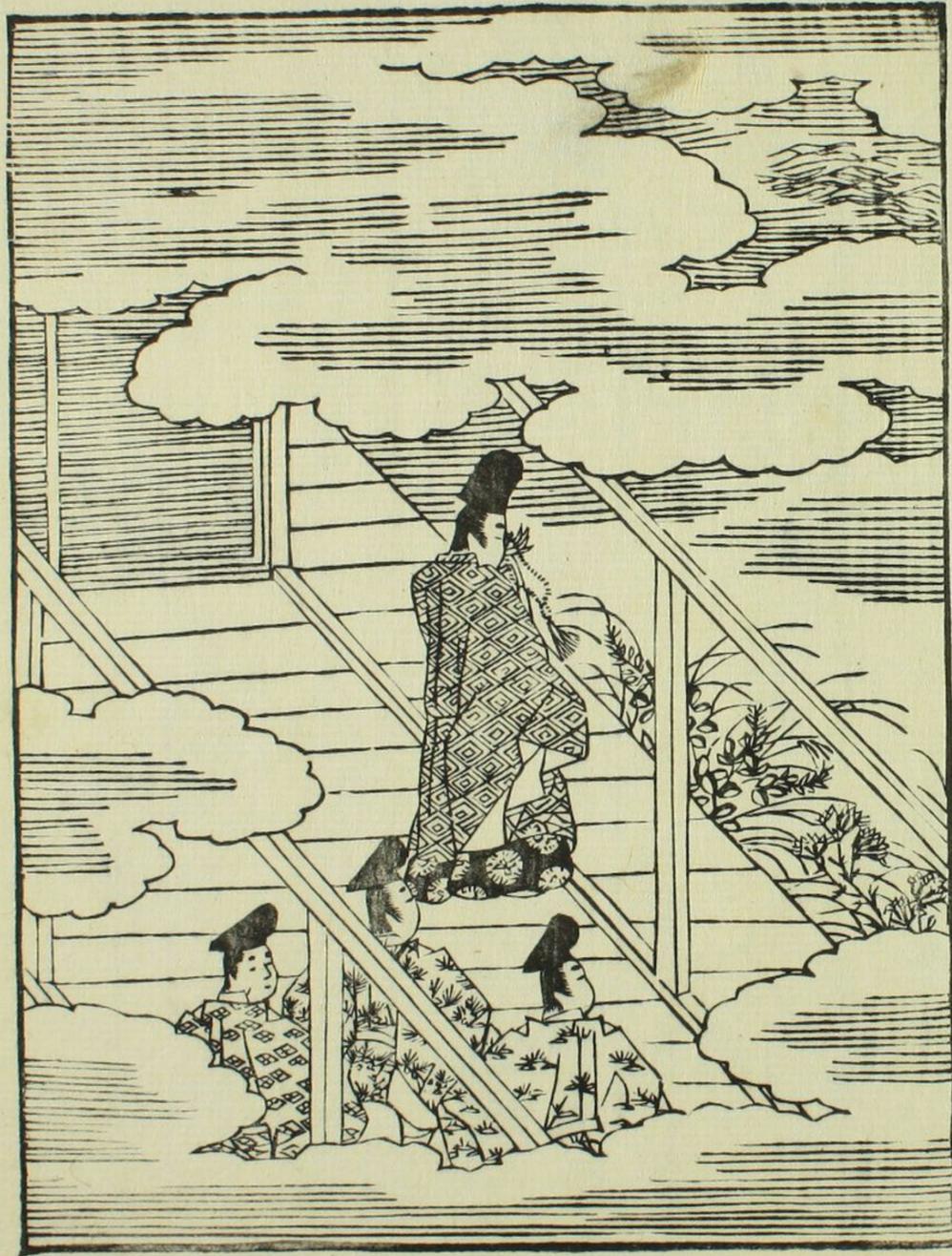
あはるる袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり
もあはるる袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり
のうさげん葉ちりちりへんわらわらさか
わらわらさか雪のさくまろくつれは袖
あはるる袖ちりちり袖ちりちり袖ちりちり
雪のさくまろくつれは袖
わらわらさか雪のさくまろくつれは袖

雪

雪



人のまぶし人よらうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 ちやうどやうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 けりよもさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 おくまぶさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 うさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 まうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 人のさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 けりよもさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
 さうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさうさう



とのおもひごとく

良清 くま つかね方のとどぞおもひゆるらその

まればうねども民^{たみ}アを傭^{やう}

惟光 こころ しくさへばとてくらむらむ雲の

しめおもひけつれさこのおと^うのせ

為人 さ まよせてさびのそとぶらうのまつ

とくれぬ程ぞちぶさ^たむ夜^よまぶりていつくは

うらむらむおのひ^ちさらはぬてくさう

そくれでもまらわらぬ^あらうまはさひくさる

われど^あらうらうま^あらうてつれちさ

あらく月のさうら^あらうま^あらうま

十五あうらうらうま^あらうま^あらうま

ちく^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

ても月のつかの^あらうま^あらうま^あらうま

すべ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

らう^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

ひちく^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

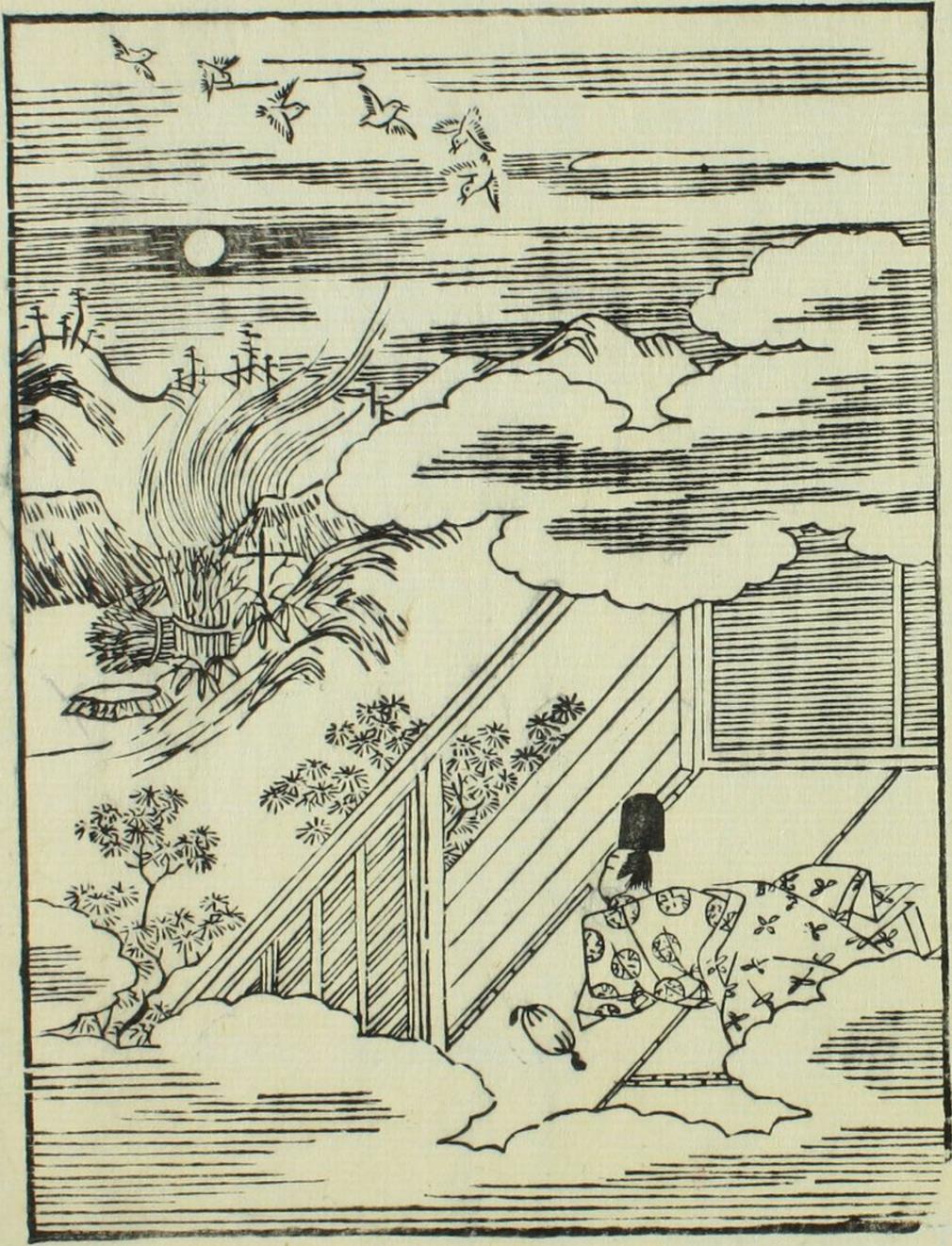
あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

あ^あらうま^あらうま^あらうま^あらうま

らん始むかばじらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん

くるしニ来院のひのびだに程ふらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん
 長あつたをまつらうらうせうしちげらぬらんらん
 のみこしらひらじらうらうせうしちげらぬらんらん



ぼ
 びの雲はつれもまらひるんたの
 ろんもまらひるんたの
 ぼろまれの曉あけのまらひるんたの
しよまらひるんたの
 のまらひるんたの
 ろんまらひるんたの

一 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 せりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく
 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 ひきりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく
 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 ひきりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく

一 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 ひきりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく
 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 ひきりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく
 さいしきわんじりともかきしんせいのめい
 ひきりてえとくりきりひきりすんりやくはやく
 つぎをせりてらるもひきりひきりやくはやく

あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに

あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに
あまのふゆはなをひらき
いよればはるはるを
まじらふとていよふに

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 15 lines of dense, cursive script. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language and dialect. There are some small annotations or corrections written above certain lines of the main text.

聲こゑよすゞ 路みちはたもとの人ひとがたれ田のりなまをすまをのが
ぢとつらと別わかれず人ひとあり物ものはけけのきよ
有あつれてしむあしひのき

^ほたかひいねのあふれり
なはくさるうぐの事こと相あらうるるいり
ららとさぞ

^ひわさくしんらとてしんらとてしんらとて
乃なや油あぶらぬんてんらとてしんらとてしんらとて
もそぢほらむらとてしんらとてしんらとて
もそぢらとてしんらとてしんらとてしんらとて
べりしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて

結むすせよあつらひしんらとてしんらとてしんらとて
志こゝろのひらきぬんらとてしんらとてしんらとて
なまらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
日ひやらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
もそぢらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
もそぢらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて

のんらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
人ひとのんらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
しんらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて
しんらとてしんらとてしんらとてしんらとてしんらとて

